

下校時刻になりました
運動部はグラウンドの
整備をお願いします

校内に残っている生徒は
速やかに下校してください

あの……綴部さん
いますか……？

んが……っ

今日はもう閉店なんで
明日にして
いただけると……

ありがたいんです
けど……

本の虫は
溺れる

ああなんだ
キミかあ
何の用だい？

ええ!!
もう忘れたんですか!!

呑舟の魚支流に游がず
つてのが信条だね

ひどいですよ
自分で勤めておいて

冗談だよ冗談

相変わらず速いね
じゃあいつもの
聞かせてよ

はいっ

初めて本の話が
できる人に
会えたのが嬉しかった
…のもあったのですが

いまは
それ以上に…

新年度が始まってから
僕は図書室に通うように
なりました

ぽ

あっははは！

相変わらず君の感想は
熱意たっぷり
面白いね!!

語彙力まるで
ないけど!!

別の目的でここに
来ているような
気がします





一般レーベルなのに
こんなの殆ど
官能小説じゃないか…
こんなの
聞いてないよお…

確かに面白いけど
このストーリーも
描写の多さも…



うう…
なにこれ…



ていうか…

こんなの
どんな顔で話せば
いいんだ…



今度のレビューは
いつもよりじっくり
聞かせてね♪

とか言ってたけど



これ…
あの人も読んだん
だよな…

こんな
すごいのを…



明日…

どうやって
顔合わせれば…



あつ…早見くん
遅いよお!!

ずっと待ってたんだから



これから
埋め合わせてよね!

なんすか…

そのキャラ…









ちがうなあ
なーんかいつもほど
熱意が伝わって
こないね

言葉が足らなくても
キミのあの楽しいレヴューを
待ってたんだけど？



えっ!?
ちよっ…

そんな
意味わからな…っ

今キミの熱は違う
ベクトルにあるみたい

あゝ
あゝ
あゝ





状況と熱気で
混乱した頭を一度…

くーるだ…

する
る

なあッ

やりたいようにって
言ったでしょ？

だからって…
流石にそれは…

ギューズ

ふーん
でもコッチはやる気
十分じゃない

オナノコが
腹くくってるんだ
覚悟決めなよ

ああああ



こっちの気持ちには
わかってるのに



それとも…
本当にわたしとは
イヤだって
言えなかった？
なら…

卑怯だよ
そんな殺し文句…



捻くれ者とは
呼ばれ慣れてるさ



これえっ
すご...っ

セックスしてるって
事実だけで頭がどうにか
なりそうなのに...

部屋の気温と乾きで
頭も体も蕩けて...

平気っ
です...あっ

っはあ♥大丈夫...?
重くない?

グチャグチャに
なる…ッ

ふふ…私ずうっと
気になってんだ

作品の中でも
特に沢山の言葉を
使う行為が…

物語を綴れる
とっても頭の
いい人達が

とっん…

47

一体
どんなものなのか
…ってね

とっん…









流れる汗は
お互いの肉体が
溶け合うようで

部屋の暑さで
火照った体が
絡み合って

思考と肉体が
融解していくような
麻薬的な快楽は

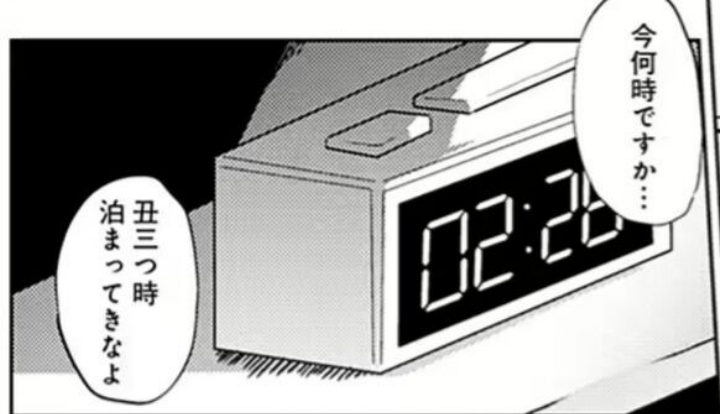


理性を欠くには
十分な量だった



あ...はあ
すごい熱い...

お腹...
品...♡





でもショックだあ
優等生の
綴部ちゃんが…

こんなおイタ
してたなんて

これ…先生や
保護者サマが
観たら…



俗世の女どもと
違う図書室で凛と
佇むキミの事

おじさん大好き
だったのになあ

それが…

カメラを仕掛けて
レンズ越しにずっと
みてたんだあ♡

あんな
ガキに！



オ…おねらい
れしゅ…♡

嫌ッ

わりやっ…ひ
があ…

気持ち悪い
キモチワルイッ

臭い…吐き気がする

んん…そうだね♡
綴部さんはおじさんの
恋人になったんだもん

この学校に
居てもらう
ために…

気持ち悪いッ

気持ち悪い…ッ

汚いチンポッ

黙っておくよ♡

気持ち悪いのに
なんで…

こんなにチンポが
いいトコ…

当たるの♡



ほ…本当に大丈夫なんですか…

ああ…今日はそういう事だから

用務員の方と点検作業があるほら体操着だろ

で…でも

僕も何か手つだ…

いや…いい君は委員じゃない「部外者」だ

帰っていいよ

ヒヤハハ…ツひでえなーアオイカワイソーじゃないか！

どうせ…ツ彼が居てもするんだろツ♡

図書室は…彼との大事なツ♡

なのに…ツ♡

うるせえよチンポしてえただけだろ♡

こんな姿ツ彼には…♡

私は何を…してるんだ…♡





お掃除も大分
うまくなったなあ♡



唇やわらけえ♡
優しく吸い出せよ



へへ…普段のキレイな
顔が…汚物まみれだ…♡



あゝ射精たわ…
飲めなかった分は
顔面に塗り込んで…

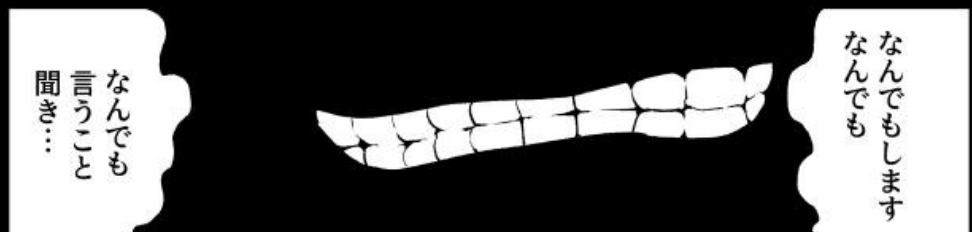
俺専用の証
マーキングに
してやる…♡

クソ色ボケ脳に
しっかり自分の主人の
臭いを覚えさせろよ

アレを握ってる限り
一生俺の支配下から
逃がさないからね♡



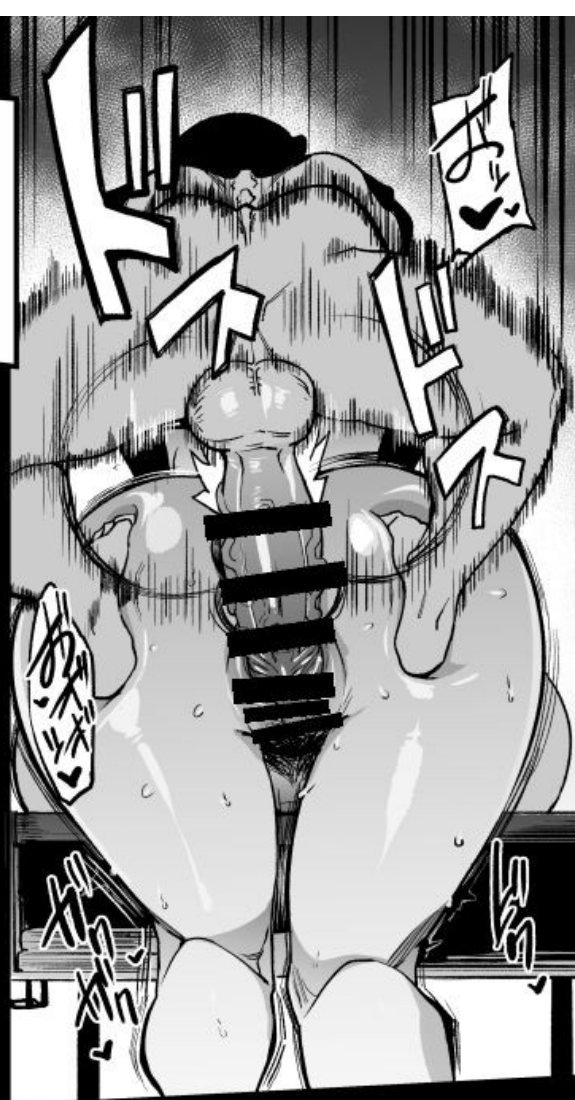






ヒッヒヒ♡
やっぱ綴部さん
身体の相性
いいね…僕と♡

チンポで小突く
だけでイキ潮
漏れてるよ♡



彼氏の机の
君の本…
濡らさなければ
君の勝ち…

もう二度と
関わらないと
約束したけど…



やっぱり恋人の
僕と離れたく
ないんだね♡

だれが…♡

子宮で亀頭フェラ
しながら言ってるじゃ
ねえよ♡



この調子じゃ
足元の名作
文学書が

河原の濡れた
エロ本みたいに
なってしまうよ♥



本当にカレの
事スキなのかい
綴部さん

この体たらくで
かい？

とっ…
とうじえ…ッ



抜こ♥



フウツ♥
そろそろ
イキそうだ…

尻尾もう邪魔
だな…ッ♥

な…やめ…ッ
触るなあッ

チンポ押し付けて
種付けするから…

早見くん…

もうすぐ…

終わるから…

図書室の
いつもの場所で

オオッ♡今日一ッ
精液出るぞッ♡

孕めッ♡
オナホ決定ッ
子種ッ♡♡

待ってて…